

当月のS&P MLP 指数の動き

5月のS&P MLP 指数(米ドルベース/トータルリターン)は、前月末比+2.4%と2ヵ月ぶりの上昇となりました。

月初は、OPEC(石油輸出国機構)と非加盟産油国からなるOPECプラスにおける増産などを背景に原油先物が下落する中、MLPは下落しました。その後、米関税交渉の進展などを受けて、米国株式や原油先物などと同様に、MLPも上昇基調となったものの、月末にかけては、需給悪化懸念などを背景に原油先物が下落する中、MLPは上値の重い展開となりました。

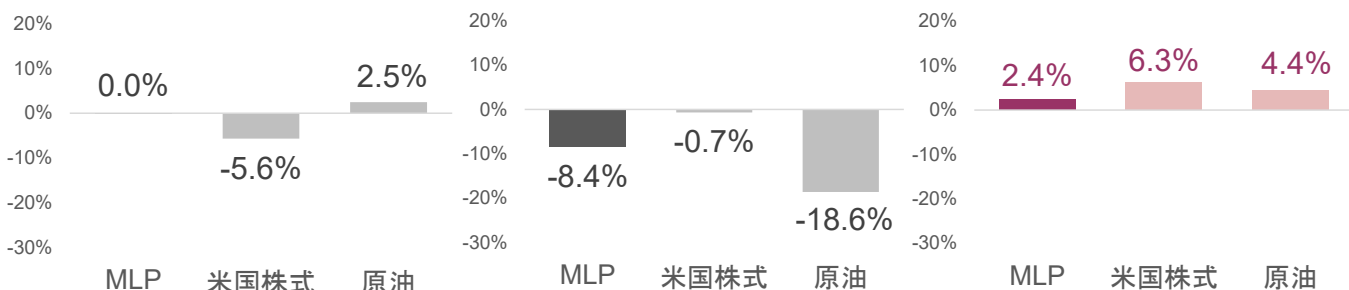
過去3ヵ月の主要指標の月次騰落率

(米ドルベース、トータルリターン)

2025年3月

2025年4月

2025年5月



MLP:S&P MLP 指数、米国株式:S&P 500 種指数、原油:WTI

主要指標の動き

休場の場合は、直前の営業日のデータを使用	指数値	指数値	指数値	指数値	騰落率			
	当月末	前月末	3ヵ月前月末	前年末	前月末比	3ヵ月前月末比	前年末比	
	2025/5/31	2025/4/30	2025/2/28	2024/12/31				
S&P MLP 指数 (米ドルベース)								
トータルリターン	9,638.76	9,410.99	10,268.96	9,363.36	2.4%	-6.1%	2.9%	
プライスリターン	1,743.62	1,729.80	1,897.56	1,759.87	0.8%	-8.1%	-0.9%	
S&P 500種 指数 (米ドルベース)								
トータルリターン	13,049.13	12,276.39	13,098.22	12,911.82	6.3%	-0.4%	1.1%	
プライスリターン	5,911.69	5,569.06	5,954.50	5,881.63	6.2%	-0.7%	0.5%	
S&P 500種 エネルギー株指数 (米ドルベース)								
トータルリターン	1,442.72	1,428.53	1,592.97	1,501.02	1.0%	-9.4%	-3.9%	
プライスリターン	619.34	617.47	689.88	654.85	0.3%	-10.2%	-5.4%	
S&P 米国 REIT 指数 (米ドルベース)								
トータルリターン	1,834.89	1,796.68	1,914.65	1,828.72	2.1%	-4.2%	0.3%	
プライスリターン	349.82	343.10	368.75	353.27	2.0%	-5.1%	-1.0%	
米国ハイイールド債 (ICE BofA 米国ハイイールド・インデックス (米ドルベース))								
トータルリターン	1,766.25	1,737.03	1,755.84	1,720.74	1.7%	0.6%	2.6%	
プライスリターン	69.18	68.39	69.91	69.26	1.1%	-1.0%	-0.1%	
米国10年国債利回り	4.40%	4.16%	4.20%	4.57%	0.24	0.20	-0.17	
原油 (WTI) 米ドル／1バレル当たり	60.79	58.21	69.76	71.72	4.4%	-12.9%	-15.2%	
天然ガス先物 米ドル／百万btu当たり	3.45	3.33	3.83	3.63	3.6%	-10.1%	-5.1%	
米ドル (対円)	144.02	143.07	150.63	157.20	0.7%	-4.4%	-8.4%	

※「米国10年国債利回り」の騰落率は、変化率(%)ではなく、利回りの変化幅を示しています。

(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

当月の出来事いろいろ

- OPECプラスが、3日、6月に原油生産を日量41.1万バレル増やすと決めたことを受け、5日に原油先物が続落し、ニューヨークでは2021年2月上旬以来の安値で引けた。
- 8日、米英両政府は、貿易協定を締結することで合意したと発表した。また、トランプ米大統領は、中国との貿易協議について、中身のあるものになるとの見方を示し、関税引き下げの可能性が示唆されたことなどが好感され、米国株式は上昇した。
- 12日、米中両政府は、互いが課している追加関税について、一部の90日間停止を含め、14日までに115ポイント引き下げる（米:145%→30%、中:125%→10%）で合意し、さらに協議を続けると発表した。これを受け、米国株式、原油先物は上昇した。
- 21日、米国では、SALT（州・地方税）控除の上限を1万米ドルから4万米ドルに引き上げることで与党・共和党が合意したと、ジョンソン下院議長が明らかにした。20年物国債の入札結果が低調となったこともあり、国債利回りが上昇し、一時、20年債で5.12%台と、2023年11月以来の高さとなった。原油先物は、一時、上昇したが、米週間統計で原油やガソリンなどの在庫が予想に反して増加したことなどから、引けでは下落した。
- 27日、米国では、5月の消費者信頼感指数が予想を大きく上回った。EU（欧州連合）への50%の米関税の発動延期を受け、欧州株式は総じて上昇したほか、連休明けとなった米国でも、ハイテク株を中心に株式相場が反発した。なお、OPECプラスの閣僚級会合が28日に開かれるのを前に、原油の増産方針が維持されとの見方などから、原油先物が売られた。

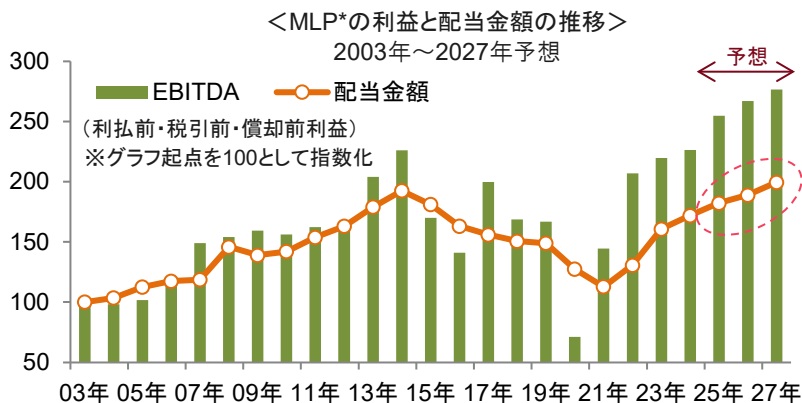
今後の注目点

6月17・18日開催の米FOMC（連邦公開市場委員会）が注目される。足元では、政策金利は据え置きとの見方が優勢となる中、公表される声明文や参加者による経済見通しなどが注目される。

MLPの配当金額見通し

2025年1-3月期の決算では、前年同期比で増配とするMLPが半数*を上回りました。なお、市場予想によると、MLPの配当金額は2025年以降も、増加が続く見通しです。

* S&P MLP 指数ベース



信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

※ 予想は2025年6月2日時点のコンセンサス予想

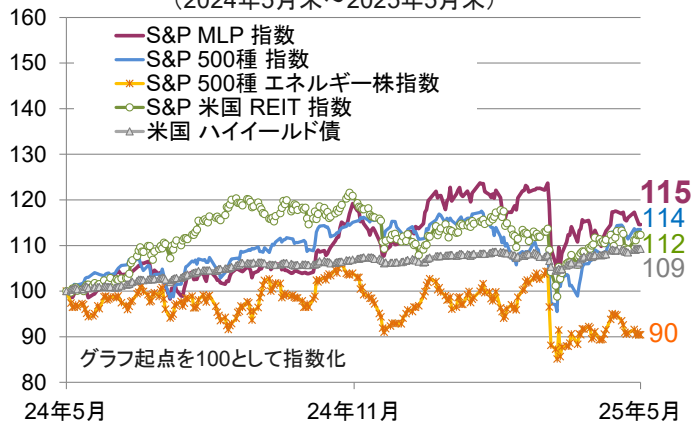
※ 上記グラフ・データは過去のものおよび予想であり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

日興アセットマネジメント

当資料は、日興アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

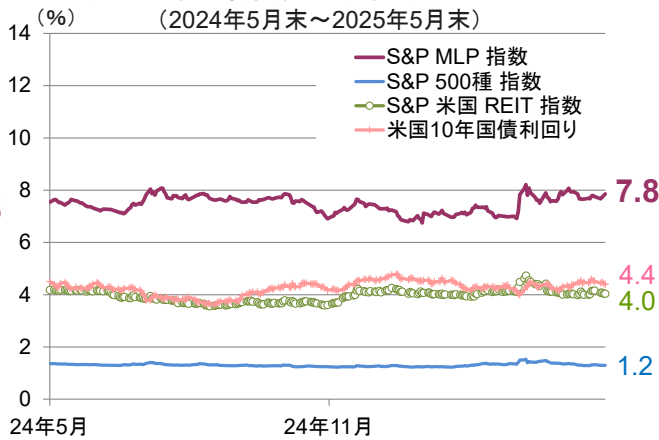
■過去1年の指数の推移（米ドルベース／トータルリターン）

(2024年5月末～2025年5月末)



■過去1年の各資産の利回り

(2024年5月末～2025年5月末)

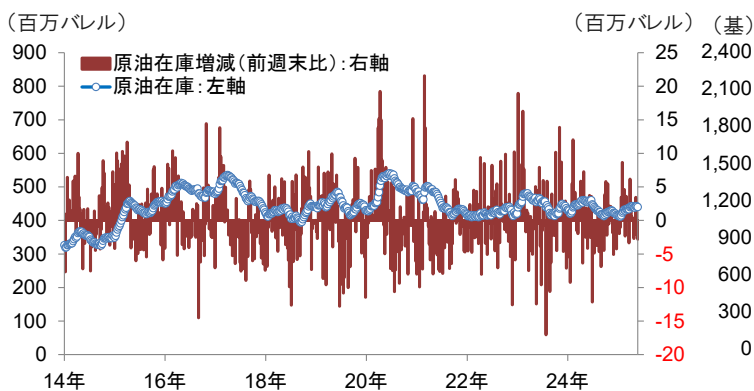


※各資産のリスク特性はそれぞれ異なるため、利回りだけで比較できるものではありません。

※上記利回りは切り捨てにて端数処理しています。

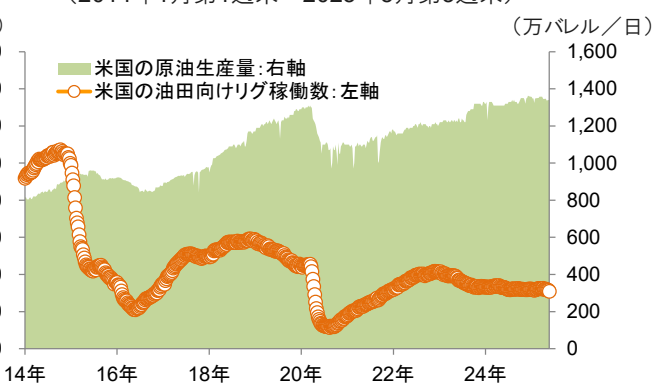
■米国の原油在庫

(2014年1月第1週末～2025年5月第3週末)



■米国の原油生産量と油田向けリグ稼働数

(2014年1月第1週末～2025年5月第3週末)



原油価格は、原油需給の影響を大きく受けます。一般的に、原油在庫が増えれば(減れば)、需給緩和懸念(引き締め期待)から、原油価格は下落(上昇)する傾向がみられます。また、油田向けのリグ稼働数が増え(減り)、原油生産量が増える(減る)と、需給緩和懸念(引き締め期待)などから、原油価格は下落(上昇)する傾向がみられます。

■原油価格と米ドル指数*

(2014年1月初～2025年5月末)



原油は、米ドル建てで取引されることから、米ドル相場の影響を受ける傾向がみられます。米ドル安基調に振れる場合、割安感などにより、原油価格に押し上げ圧力が働く可能性が考えられることから、米ドル相場の動向には注視が必要です。

(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

※当資料に示す各指数の著作権等の知的財産権その他一切の権利は、各指数の算出元または公表元に帰属します。